

小谷村の今の姿をより良いかたちで後世へつなげていくために

## 景観づくりは地域づくり

昨年度から開催している『小谷村景観づくり住民懇談会』では、景観づくりは地域づくりであるとの考えから、景観づくりという枠を超えて、地域づくりに関する様々なご意見をいただいています。

今回のニュースレターでは、これまでの懇談会で出されているご意見の一部をご紹介します。



### 村全体の景観づくりに関する意見

村の景観は今まで知らないうちに守られてきた。これからも同じように守られてほしい。

開発行為に対して規制がかけられるものが必要。

村としてどうしたいのか、先に方針を示してほしい。

景観づくりはお金をもらうことを目的にやるものではない。

景観は「守る」のではなく「育てていく」という意識が大事。

自分たちのまわりからきれいにする。

無秩序な開発から村を守るルールづくりが必要。

農業だけ、観光だけではなく、村全体を考えて整備を進める。

村全体を観光地としてとらえるのではなく、山間地や歴史的街並みとしてとらえる。

計画づくりはみんなでも話し合っ、何年もかけて進めるべき。

ゾーンを決めて、早急に決める必要がある場所から計画を作ったかどうか。

白馬村は以前から景観保全に取り組んでいる。取りかかりが遅いと思う。

### 「小谷村をこんなところにしたい」

豊かに生活している村。

のんびり長期滞在できる場所。

森の中にペンション等の宿泊施設が点在し、豊かな自然が残されたところ。

白馬や白川郷のような観光地になってほしくない。

### スキー場・観光地域に関する意見

梅池エリアは観光拠点であり、小谷の玄関。村のイメージを与える重要な場所。

ゆったり宿泊して、ゆったり観光、のんびり過ごせる場所を目指す。

国立公園の入口にあたる、ゴンドラ乗り場周辺の雰囲気大事。

宿泊稼働率 60% (できれば70%)を目指す。

スキー場・観光地域の今後について、地域の経営者との対話の場をつくる。

外国人観光客とコミュニケーションできるように、語学勉強できる環境を作る。

メインストリートは今の2倍の広さに整備する。

日本人が来たいと思う場所にする。

看板・サイン類を統一する。小谷は木の村なので、木の看板でそろえる。

今頑張っている事業者に対する支援(建物の修繕など)をする。

営業していない建物を活用する仕組みを考える。

村の人材を活用する。

**まだまだご意見を募集しています!**

ぜひ『景観づくり住民懇談会』にご参加いただき、景観全体・景観づくりについて皆さんで話し合しましょう。

☞詳しくはウラ面へ

新型コロナウイルス感染症対策で開催を見合わせていた  
住民懇談会を7月下旬から再開いたします。



小谷村の未来の姿をつくるために、  
みなさんの意見がもっと必要です。  
ぜひ『景観づくり住民懇談会』にご参加ください。

■景観づくり住民懇談会を再開します

7月下旬～8月上旬にかけて、村内5か所で開催します。どの会場でも内容は同じです。参加しやすい日時・場所の会場へお越しください。

(開催にあたり「3つの密」を避けるなど感染予防策を講じます。また、マスクの着用をお願いします。)

■今回は「地域おこしにつながるテーマ」を取り上げます

昨年度の住民懇談会において、参加者から「もっと幅広く小谷村の魅力などについて話し合う機会、場所がほしい」という要望があったことから、今回は景観づくりの枠を超えて、地域おこしにつながるテーマを取り上げ、これからの小谷村づくりについて幅広く話し合う予定です。地域おこしの考えや意見がある方、考え、意見はないけど関心がある方、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

会場	開催日時	内容(予定)
拇池観光総合センター	7月28日(火) 18:30～	●これまでの経過 ●近隣の動きの紹介 ●地域おこしにつながるテーマについての話し合い
小谷村交流センター ちゃんめろ	7月30日(木) 18:30～	
小谷村役場	8月3日(月) 18:30～	
中土観光交流センター やまつばき	8月5日(水) 13:30～	
道の駅小谷	8月7日(金) 13:30～	

- 詳しく知りたいことがありましたら、『景観づくり住民懇談会』へお越しいただくか、次の連絡先へお問い合わせください。(小谷村役場 建設水道課 建設係 電話 0261-82-2204)
- 今までの懇談会、勉強会の資料を小谷村のホームページに掲載しています。  
『小谷村景観づくりニュース』で検索するか、村ホームページ <http://www.vill.otari.nagano.jp/> の「行政情報」☞「まちづくり」☞「小谷村景観づくりニュース」へアクセスしてください。

塩の道沿道地域に関する意見

歴史を再認識、再発見する道であってほしい。

1000年の時間を縮める道。

塩の道は村の大事な要素。飲食店や休憩スポットなど人を迎える施設が不足している。

集落と集落をつなぐ道として利用され、維持していきたい。

埋橋地区の小屋が傷んでおり、代わりとなる施設を造ってほしい。

トレイルランなどへの活用を考えてほしい。

塩の道のファンを募り、会報を発行する。

守り手を育成する。道が減びないように、知恵を出し合う。

その他の景観づくり・地域づくりに関する意見

眺望の良い場所がたくさんあることが小谷村の特徴。

道沿いの眺望の良い場所は、木を伐って眺望が得られるようにする。

眺望点などへの案内看板の色彩や仕様を考えてほしい。

電波塔などの構造物は、主要道路から離して設置するルールをつくる。

廃屋の撤去を考えてほしい。

廃屋の使い方や残し方を考える必要がある。都会の人の体験に活用することも考える。

廃屋を何とかしたいと思っても、予算が用意できないと厳しい。

国道沿いの古い大きな看板が景観を損ねている。

萱場を守るべき。牧の人の萱場が目立っているが、他にもたくさん残っている。

地域の助け合い、支え合いの仕組みをつくる。

草刈りなどの人手を外から受け入れる仕組みをつくる。

一週間程度の「田舎暮らしツアー」を企画し実施する。

小谷村景観づくりニュースレター 06

発行日：2020.7.06  
発行：小谷村役場

連絡先：小谷村役場 建設水道課 建設係  
(担当：大日方(おびなた)・北村)  
電話：0261-82-2204  
FAX：0261-82-2232  
メール：kensetu@vill.otari.nagano.jp